

広野町土地改良区総代会が開催を実施



↑ 広野町土地改良区総代会の様子

6月30日、遠藤町長は、土地改良区総代会で「春先の渇水対策として、ため池の調査に着手しました。昨年度はふるさと納税に1,800件の応募があり広野産米650俵を全国各地に送り届けたが、この秋から学校給食でも広野産米を提供する。野菜づくり勉強会やアグリイノベーション活用型営農モデル推進事業等により農業後継者育成を図っていきます。」と来賓挨拶し、本町農業の復興と振興に対する協力を謝辞を述べました。総代会では、渡邊正俊理事長が「町内で実施されているほ場整備事業は滞りなく進捗している。春先の異常渇水が懸念されるが町と一緒に取り組みたい。」と挨拶し、その後、議案審議に入り、了承されました。

友情ネットプロジェクト巡回指導



↑ 巡回指導を受ける広野中学校の女子バレーボール部

7月5日、男子プロバレーボールクラブチーム「堺プレイザーズ」の小池勇輝選手と元全日本メンバーのGM兼強化部長の千葉進也氏が友情ネットプロジェクト巡回指導のため来町しました。友情ネットプロジェクトは、新日鐵住金株式会社東北支店が発起人となり、福島将来を担う子どもたちにバレーボールを通じて「仲間を想う気持ち」を育み、友情の輪を広げ、たくさんの思い出を作りたいと福島の復興を支える子どもたちを応援するプロジェクトです。広野中学校の女子バレーボール部が巡回指導を受けるのは、今年で4回目になります。子どもたちは目を輝かせて練習に励んでいました。

災害等における無人航空機による情報収集活動（撮影時）に関する協定締結



↑ 株式会社大和田測量設計と災害時における無人航空機による情報収集（撮影時）に関する協定を締結

7月4日、株式会社大和田測量設計と災害時における無人航空機による情報収集（撮影時）に関する協定を締結し、遠藤町長と同社の大和田幹雄代表取締役が協定書に調印しました。この協定は、町内において自然災害や大規模事故など町民の生命、身体および財産に重大な被害が生じるおそれがある緊急の事態が発生した場合において、無人航空機により、災害現場の映像や画像などを撮影し災害状況を迅速に把握するためのものです。また、収集した情報を消防、警察、自衛隊などの関係機関とも共有することで、救助活動、被災地の復旧活動など災害時の体制がより強固なものになります。

プレミアム付き商品券が販売開始



↑ たくさんの町民が広野町プレミアム付き商品券を買い求めるため商工会を訪れました

7月4日、広野町プレミアム付き商品券が広野町商工会で販売が開始されました。販売初日と二日目は商工会事務所隣の特設会場で販売し、商品券を買う人が大勢商工会を訪れ、購入する姿が見られました。遠藤町長が販売所を視察し、「たくさんの方々に商品券を活用し、町内で買い物をし、広野町を元気にしてもらいたい」と挨拶を述べました。今年のプレミアム付き商品券は、昨年に引き続きプレミアム率を50%とし、1セット1万円で販売し、1万5千円分を利用することができます。一人あたり6セットまで購入できます。利用期間は令和2年1月5日（日曜日）までとなっています。

アサヒビール株式会社が復興支援の寄付



↑ アサヒビール（株） 浅山貴子シニアマネージャーから目録を受け取る遠藤町長

7月4日、アサヒビール株式会社が200万円を広野町に寄付し、浅山貴子シニアマネージャーから遠藤町長へ目録が手渡されました。このお金は、広野町振興公社が町の特産品を目指して取り組んでいる国産バナナ栽培を熟成させる施設の整備費用として活用されることとなります。浅山貴子シニアマネージャーは、「バナナ栽培により農業の再生が進み、1日も早い復興につながってほしい。」と述べました。

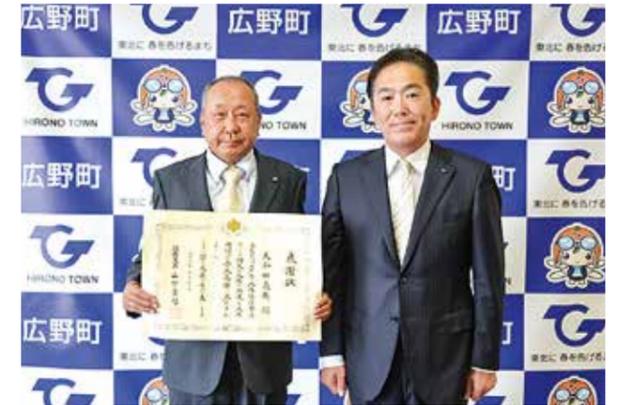
J R 広野駅環境美化清掃活動を実施



↑ J R 広野駅清掃活動に集まった参加者の皆さん

7月6日、J R 広野駅環境美化清掃活動が実施されました。この活動は広野駅環境美化推進協議会メンバーが中心になって、広野町の玄関口「J R 広野駅」の環境美化に取り組み、電車を利用する人々の快適さの向上を図ることを目的に毎年実施しているものです。当日はその他団体の広野町婦人会会員、東京電力HD社員、J R 東日本OB、地元企業、広野町役場職員など約80人が参加し駅構内や駅前広場、駅周辺の除草作業に汗を流しました。

法務大臣表彰受賞を報告



↑ 受賞を報告した大和田義英さん（写真左）

7月17日、広野町人権擁護委員を令和元年6月30日で退任した大和田義英さんが広野町役場を訪れ、法務大臣表彰受賞を遠藤町長に報告しました。大和田さんは、平成25年から人権擁護委員（地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権について関心を持ってもらえるような活動を行う）を務め、人権相談や人権啓発活動に広く積極的に取り組んできたことが評価されました。大和田さんは、「責務を果たしてきたことが認められ光栄です。」と喜びを話しました。

双葉郡スポーツ交流大会が開催



↑ 双葉郡スポーツ交流大会の様子

7月7日、広野町をメイン会場に双葉郡スポーツ交流大会が開催されました。交流大会は8町村のつながり確かめ合い、住民の体力向上や健康維持につなげようと平成27年に始まりました。震災後、5回目の開催となりましたが、当日はあいにくの雨模様のため屋外競技は中止となり、バレーボール、剣道、バスケットボールの3競技で交流を深めました。

広野町はバレーボールと剣道の2種目に参加し、剣道は個人戦で2位、バレーボールは3位となり、参加した広野町選手は楽しみながら熱き戦いを繰り広げました。